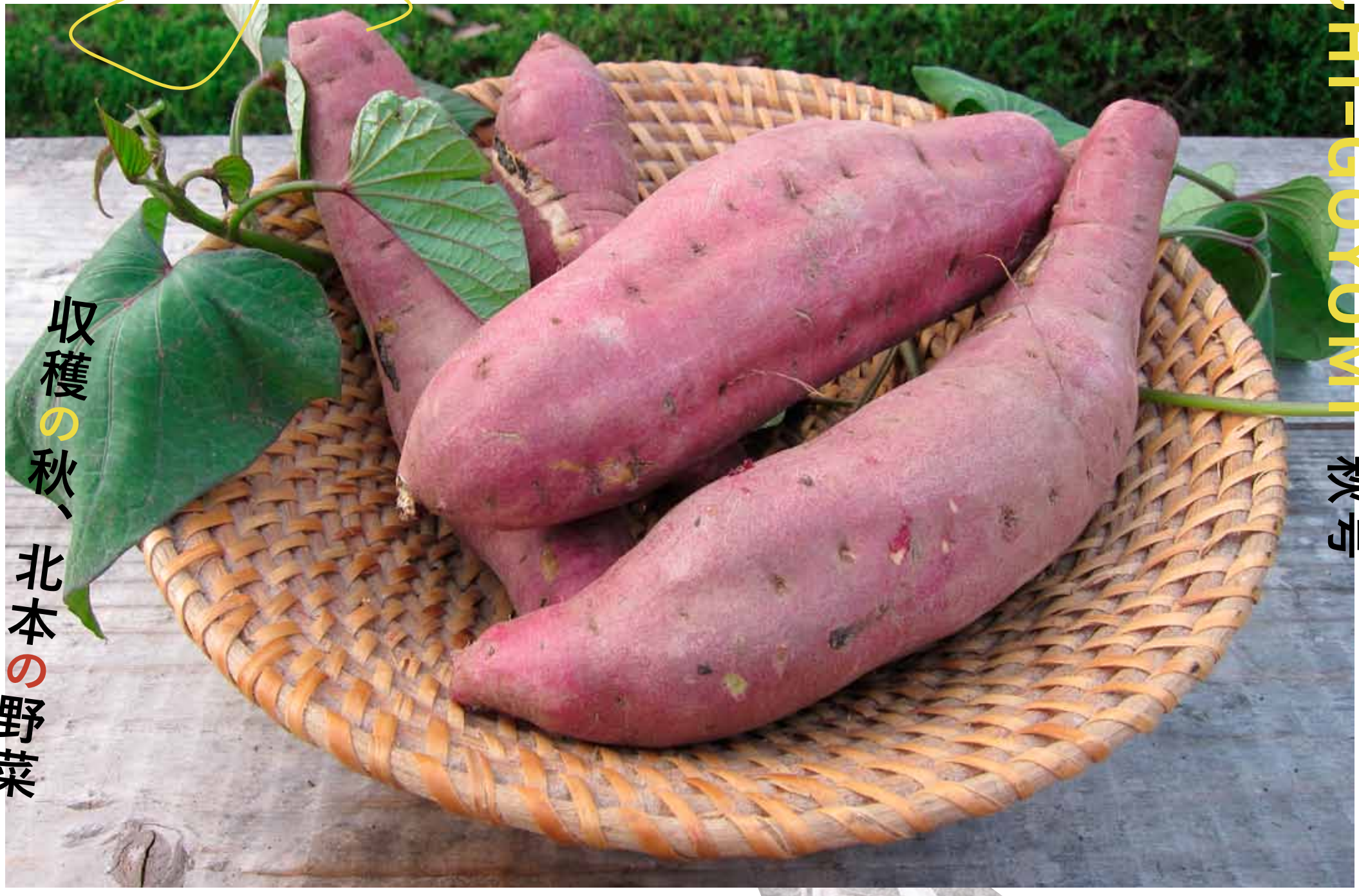


収穫の秋、北本の野菜

市内のおよそ3割を畑が占める北本。市内のあちこちの直売所にも秋の野菜が並ぶようになりました。
今回はそんな秋が旬の野菜の中から、さつまいもを特集します。
埼玉で「さつまいも」といえば川越と連想しますが、意外と北本のさつまいもの歴史は長く、知らない方も多いのでは？

北本は大正時代から「さつまいも」の名産地

北本市内では田んぼよりも畑を多く目にします。これは北本の土壌が火山灰土であることに由来します。火山灰土は水はけがよく、畑や果物の栽培に適しています。

そんな北本では、江戸時代末期にサツマ問屋との取引に関する史料が残されており、幕末には盛んにさつまいもが生産されていたようです。さつまいもといえば川越が有名ですが、実は北本でも昔から生産されている野菜です。水はけがよく、肥料分の少ない土を好むさつまいもは、市内西部を中心に現在でも10軒の農家で生産されています。石戸宿でさつまいもを生産する農家の方にお話をうかがいました。歴史について尋ねてみると「まだ、荒川の高尾河岸が舟運でにぎわっていたころは、川越まで船で北本産のさつまいもを運んでいたようです。」とのこと。それでは、どうしてさつまいもが北本で盛んに生産されていたのでしょうか。「田んぼができない北本では、風土にあった作物であるさつまいもが主食としても食されていました。昔は雑木林の落ち葉を肥料として活用し、麦わらを敷いて育てていました。その栽培方法は北本の環境をうまく活用できるものだったのです。」ということでした。雑木林と麦栽培が中心だった北本だから、さつまいも生産が定着したのでしょう。さつまいも農家はどこでも室（ムロ）と呼ばれる地下の貯蔵庫を持っており、寒さを嫌うさつまいもの種芋を貯蔵しているそうです。

焼き芋、ふかし芋、煮物、大学芋、天ぷらなどさつまいもの食べ方はいろいろ。今年の秋は、ぜひ北本のさつまいもを食べてみてください。

冬の間さつまいもを保管する室（むろ）

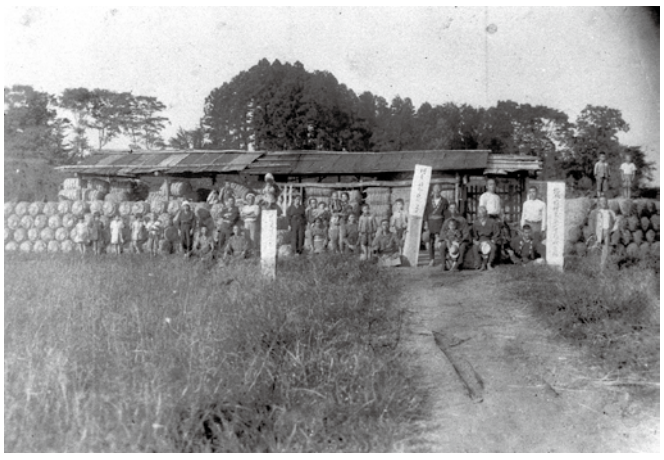
北本の意外な名産品、さつまいも

北本産の野菜、くだものを買うには？

今回ご紹介したさつまいもをはじめとした北本産の野菜、くだもの。市内でもあちこちで購入することができます。

毎年11月におこなわれる産業まつり（11月3日（日）開催。詳しくは裏面へ）では、農産物の品評会がおこなわれ、品評会終了後に販売されるほか、産業まつり会場でも生産者が旬の野菜を販売しています。新鮮で高品質な野菜が買えるとあって、毎年たくさんの来場者で賑わいます。

また、北本にはまちのあちこちにたくさんの直売所が点在していて、なんと70軒以上もあるのです。とれたての新鮮な野菜、くだものがたいてい100円で購入できるのでとってもお買い得。直売所の多くは生産者の手によって建てられており、それぞれの創意工夫も楽しみのひとつです。北本市観光協会では、北本直売所マップ（右下QRコードより）をインターネット上に公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。



さつまいもの検査の様子（昭和13年）•新島氏提供

さつまいもの収穫（昭和26年）•小池氏提供

市内に点在する個性的な直売所

北本直売所マップはこちらから

幻のさつま団子を追え！

久しぶり
の記事を書く事になったのですが、お題
がなんと「サツマ団子」。正直、生まれてから一度も聞い
たことも見たこともないし、どんな食べ物なのか想像もつかない。
自分がイメージするに、形がまんまるで色が黄色か黄土色のサツマイモカ
ラー。その上、ホクホクもちもちしていて頬がおちるほどおいしいと思うんです。
本物の「サツマ団子」はどんな味がするのか気になって仕方がない今日この頃。学
校やネットの友達に「サツマ団子を知っているか?」聞いてみました。学校の友達に尋ね
てみると、みんな「知らない」「見たことないよ」「川越かどっかのお菓子?」とのこと。ネッ
トの友達に尋ねてみると 、やっぱり「なんですかそれ?おいしいですか?」「知らない」との
回答が多かったですが、中には「小さいころどこかで聞いたことがある」「食べたことがあ
るような気がする」「食品なら知ってる」「なんか美味しそう」「食べてみたい」「初めて知
りました～」と回答してくれた方々もいました。
「サツマ団子」を知っている友達が調べてくれてわかったのですが、「サツマ団
子とは戦後よく食べられていたおやつで、さつまいもを薄く切って干して
粉にして団子にするのだそうです」(＊粉の事を芋粉と言うらしい)ます
ます気になる幻の「サツマ団子」。今度レシピを探してつく
ってみよう。「サツマ団子」調査は続く…

文献を調べていると、昔はさつまいもを材料としたサツマ団子というおやつを食べていたという記述がありました。
しかし、今回の取材では実際に食べた事がある方にお会いすることはできませんでした。
そこで高校生編集員である木暮君にサツマ団子とはどのようなものか、妄想してもらいました。

妄想さつま団子

北本まつり「宵まつり」

北本まつり「産業まつり」

北本野外音楽祭

ホワイトイルミネーション

イベント情報

イベント情報を掲載したいかたは北本市観光協会までご連絡ください

北本まつり「宵まつり」
11月2日(土)
13:30～20:00
北本駅西口、西中央通線
問合せ=北本まつり「宵まつり」部門実行委員会事務局(北本市観光協会内)
048-591-1473

交通安全パレードから幕を開け、流し踊りやパフォーマンスがまつりを盛り上げます。18時からは、伝統のお囃子、ねぷたなどが駅前通りを練り歩きます。

北本まつり「産業まつり」
11月3日(日)
9:30～14:30
北本中学校校庭
問合せ=北本まつり「産業まつり」部門実行委員会事務局(JAあだち野石戸支店内) 048-591-4686

北本のおいしいものがあつまるお祭り。市内の農産物、特産品の展示販売がおこなわれます。また、姉妹都市の福島県会津坂下町やねぷたで交流のある青森県弘前市の特産品も出店します。

きくまつり
11月2日(土)～10日(日)
北本市総合公園
問合せ=総合公園管理事務所 048-592-4050

市の花である菊を展示するほか、9日は北本よさこい、10日は北本野外音楽祭、クラシックカーフェスティバル、9日、10日両日はご当地グルメの出店やフリーマーケットなどのイベントが開催されます。

•北本野外音楽祭(11月10日)
老若男女が隔てなく楽しめるアットホームなイベントをモットーに、毎年秋に開催されます。2012年よりダンスを中心としたストリートスタイルのKIKU Stage、バンドを中心としたフェススタイルのIKE Stageの2ステージ開催となり、超人気アーティストから各地の地元を代表するアーティストまで、ジャンルを超えた演目が目白押しです!恒例の会場デコレーションやワークショップ、キャンドルナイトも見逃せません! http://kitamotoyaon.sakura.ne.jp/

ふるさとまつり
1月16日(土)
10:00～15:00
北本市総合公園
問合せ=ふるさとまつり実行委員会 048-591-4728

北本市内の各県人会の特産物の販売や、郷土の踊り、民謡などが披露されます。

第6回北本の観光のこと考えちゃわナイト
11月28日(木)
18:30～20:00
北本市観光協会事務所「観光情報発信館」
問合せ=北本市観光協会 048-591-1473

北本の観光について考えるオープンミーティングです。今回は「旅行×観光／北本における旅行を考える」として、北本での観光滞在時間や、宿泊の可能性について話し合います。

ホワイトイルミネーション2013
12月1日(日)
点灯イベント13:00～**点灯式**17:00～
北本駅東口ロータリー
点灯期間=12月1日(日)～2014年2月14日(金)
点灯会場=北本駅西口ロータリー、東口ロータリー
問合せ=きたもとイルミネーション実行委員会事務局(北本市観光協会内)
048-591-1473

みなさんに長く楽しんでもらえるよう、点灯期間を延長しました。今年のテーマは「AKARI」。みなさんの心と北本のまちに「AKARI」を灯します。

北本市観光協会会員募集

北本市観光協会は、2012年にNPO法人化を果たし、これまで以上に北本市の観光と地域活性化に邁進していきます。ご協力、ご支援いただける方を募集しております。
年会費2,000円 •詳しくは北本市観光協会までお問い合わせください。

まちごよみ編集部員募集中！

まちごよみは、現在、3名の北本高校生と一緒に企画編集を行っています。未経験者歓迎です。プロのデザイナーと一緒に誌面をつくっていきます。まち歩きが好き、北本を盛り上げたい、文章を書くのが好きなかた、お待ちしています。詳しくは北本市観光協会までお問いあわせください。

まちごよみについて

「まちごよみ」は北本市観光協会が発行する観光情報を発信するフリーペーパーです。市民目線で北本の新しい魅力を発見、発信していきます。

北本市西高尾1-249
Tel: 048-591-1473 FAX: 048-577-3475
Mail: info@machikan.com
発行元=北本市観光協会
協力=北本市、北本市生涯学習課
発行=2013年10月

北本市観光協会
KITAMOTO TOURISM ASSOCIATION

編集後記 今回のテーマに頭を悩ませていたとき、たまたま産業まつりの取材でさつまいもが昔からつくられていることを知りました。今年はさつまいもをたくさん食べる秋になりそうです。次回は1月ごろ発行予定です。